



フォースタートアップス 個人投資家向け説明会 (コード：7089)

2023.8.29 Kabu Berry Lab

Agenda

1. 会社概要
2. 2024年3月期 第1四半期業績
3. スタートアップ支援の目的
4. Appendix



当社の開示情報をIRメールにて配信しております。
どなたでも無料でご登録いただけます。



会社概要



フォースタートアップス株式会社 代表取締役社長 志水 雄一郎

福岡県出身。中学・高校の同級生に堀江貴文氏、孫泰蔵氏など

1996年 株式会社インテリジェンス（現パーソルキャリア株式会社）入社
転職サイト「DODA（現 doda）」の立ち上げに携わる

2012年 株式会社セントメディア（現株式会社ウィルオブ・ワーク）入社
ネットジンザイバンク事業部長
スタートアップ企業向け人材紹介ヘッドハンターとして活動

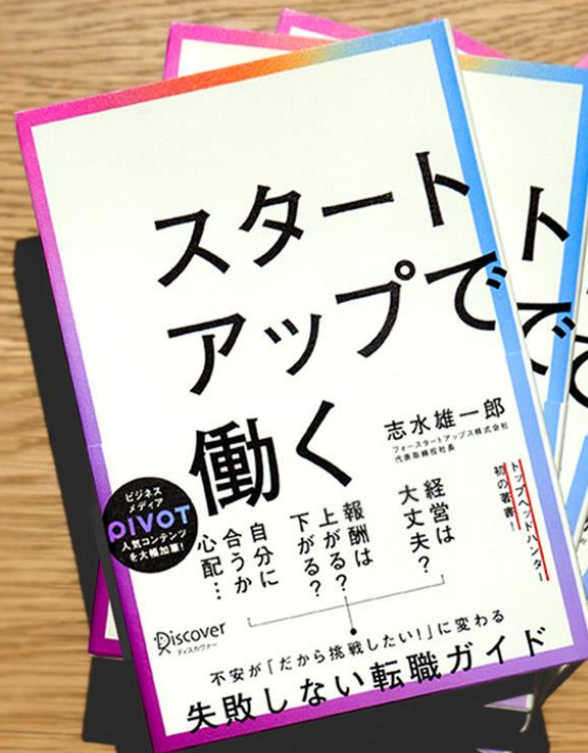
2014-15年ビズリーチ主催『Headhunter of The Year』2年連続受賞
2016年 国内初『殿堂』入りHeadhunter認定

2016年 事業部門を法人化。株式会社ネットジンザイバンク設立

2018年 フォースタートアップス株式会社に社名変更

“ 現代のビジネス環境において
急成長するスタートアップ企業で
働くことの意味と価値について
深く考察した一冊。 ”

—— 孫 泰蔵



会社概要

社名	フォースタートアップス株式会社 (英語名; for Startups, Inc.)
設立	2016年 9 月
本社所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F
正社員数	186名 (2023年6月30日時点)
資本金	226百万円 (2023年6月末)
事業内容	成長産業支援 -タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業 -ベンチャーキャピタル事業
上場市場	東京証券取引所グロース市場 (証券コード: 7089)
職業紹介許可番号	13-ユ-307946
グループ会社	フォースタートアップスキャピタル合同会社
加盟団体等	日本経済団体連合会 (経団連) 会員 新経済連盟 (新経連) 会員 日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) 賛助会員 経済産業省J-Startup Supporters選定企業



2023年6月7日「フォースタートアップス感謝祭」より当社役員及び社員の集合写真



代表取締役社長
志水 雄一郎

株式会社インテリジェンス(現パーソルキャリア株式会社)にて『DODA』立ち上げなどを経て、2016年に株式会社ネットジンザイバンク(現フォースタートアップス株式会社)を創業。2016年『Japan Headhunter Awards』にて国内初殿堂入りHeadhunter認定。日本ベンチャーキャピタル協会ベンチャーエコシステム委員会委員/経団連スタートアップ政策タスクフォース委員



常務取締役
タレントエージェンシー本部長
恒田 有希子

株式会社サミネットワークス入社後、株式会社メタップスに入社。同社の事業統括責任者を経て、2016年10月に当社入社。2018年4月に執行役員就任後、タレントエージェンシー本部を統括し、2019年に取締役に就任。2021年より常務取締役に就任。第17回グロービス アルムナイ・アワード「創造部門」を受賞。



取締役 コーポレート本部長
菊池 烈

有限責任監査法人トーマツに入所後、国内企業・グローバル企業の法定監査業務のほか、内部統制構築支援や国際会計基準(IFRS)の導入支援などの業務に関わる。2018年にフォースタートアップス株式会社に監査役として参画。その後、コーポレート本部長に就任し、バックオフィス全般を掌管。2019年取締役に就任。公認会計士。



取締役
アクセラレーション本部長
清水 和彦

株式会社グローリアス、株式会社RSS広告社(現Unipos株式会社)を経て、株式会社セントメディア(現株式会社ウィルオブ・ワーク)にてネットジンザイバンクの立ち上げに参画。2019年6月に取締役兼人事本部長就任、2019年7月より取締役兼アクセラレーション本部長。2021年5月にフォースタートアップスキャピタル合同会社職務執行者に就任。



社外取締役
齋藤 太郎

株式会社電通入社後、2005年に株式会社dofを設立し、2009年に同社代表取締役社長に就任。株式会社ZOZO社外取締役、株式会社CARTA HOLDINGS社外取締役、Sansan株式会社社外取締役、株式会社CC共同代表。2019年より当社社外取締役に就任。



社外取締役
梅澤 高明

CIC Japan会長。国内最大規模の都心型イノベーション拠点CIC Tokyoを2020年に開設。A.T. KEARNEYの日本法人会長を兼務。日米で25年にわたり、戦略・イノベーション・マーケティング・組織関連のコンサルティングを実施。観光、都市政策、知財戦略、クールジャパン、税制などのテーマで政府委員会の委員を務める。2022年より当社社外取締役に就任。



社外取締役常勤監査等委員
志磨 純子

日本長期信用銀行(現株式会社新生銀行)入行後、Coopers & Lybrandロンドン事務所を経て、2002年明治監査法人(現アーク有限責任監査法人)に入所、会計監査に従事。2016年コロプラに入社し、内部監査を担当。2018年当社社外監査役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。



社外取締役監査等委員
堀内 雅生

日本インベストメント・ファイナンス株式会社、株式会社インテリジェンスを経て、株式会社サイバーエージェント監査役、U-NEXT(現USEN-NEXT HOLDINGS)取締役管理本部長を歴任。株式会社USEN-NEXT HOLDINGS常勤監査役、株式会社サイバーエージェント社外取締役(監査等委員)。2020年当社社外取締役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員。



社外取締役監査等委員
秋元 芳央

2000年弁護士登録、あさひ法律事務所(現西村あさひ法律事務所)にて勤務後、グリー株式会社(現グリー株式会社)を経て、2014年独立。原口総合法律事務所パートナー。株式会社ギフティ社外監査役、株式会社ミラティブ社外監査役。2018年当社社外監査役に就任。2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。

『志を育てる』の著者である田久保 善彦氏を顧問に迎え、人材育成を推進
社員の志の醸成や、能力開発などの仕組みの進化と深化に関わっていただくことを想定



フォースタートアップス 顧問

グロービス経営大学院 副学長

学校法人グロービス経営大学院 常務理事

田久保 善彦氏 就任



田久保 善彦氏 プロフィール

慶應義塾大学理工学部卒業、学士(工学)、修士(工学)、博士(学術)。スイスIMD PEDコース修了。株式会社三菱総合研究所を経て現職。経済同友会幹事、上場企業、スタートアップ企業社外取締役等も務める。著書に『ビジネス数字力を鍛える』『社内を動かす力』（ダイヤモンド社）、共著に『志を育てる（増補改訂版）』、『グロービス流 キャリアをつくる技術と戦略』、『27歳からのMBA グロービス流ビジネス基礎力10』、『創業三〇〇年の長寿企業はなぜ栄え続けるのか』、『これからのマネジャーの教科書』『「人的ネットワーク」づくりの教科書』（東洋経済新報社）、『日本型「無私」の経営力』（光文社）、訳書に「信念に生きる～ネルソン・マンデラの行動哲学」（英治出版）等がある。

Mission

(共に)進化の中心へ

Vision

for Startups

Value

*Startups First
Be a Talent
The Team*



*Startups First
Be a Talent
The Team*

2024年3月期 第1四半期業績

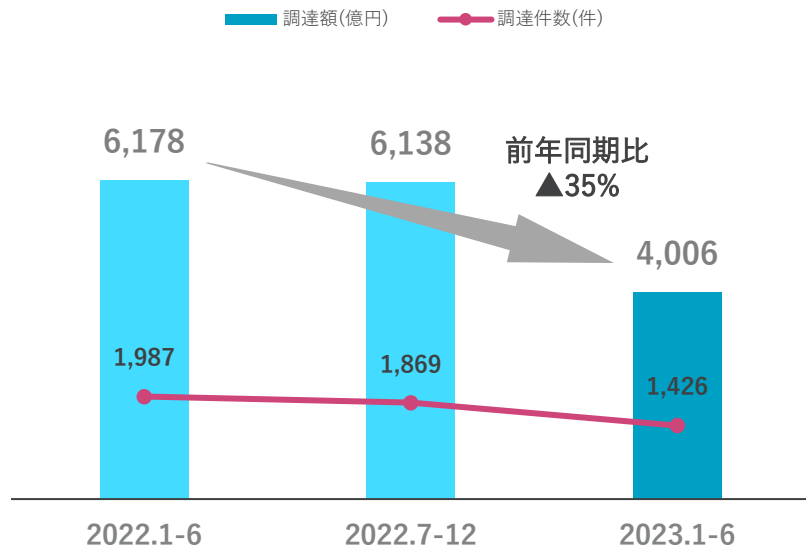
厳しい事業環境のなか

- 前年同期比で増収を達成
- 受注高は過去最高値を大幅更新

【事業環境】 資金調達市場の動向

資金調達市場は米国のリセッション懸念の影響を受けており、上半期資金調達額は35%減の状況
スタートアップはコスト調整等に対応しており、採用コストの抑制トレンドが続いている

2023年上半期の状況



参照) STARTUP DB 『2023年上半期国内スタートアップ投資動向レポート』
※デット含む

<前提情報>

スタートアップ企業のニーズ*

- ① 資金調達(32.7%)
- ② 人材採用(29.2%)
- ③ 販路拡大(27.4%)

*参照) VEC「ベンチャー白書2022」

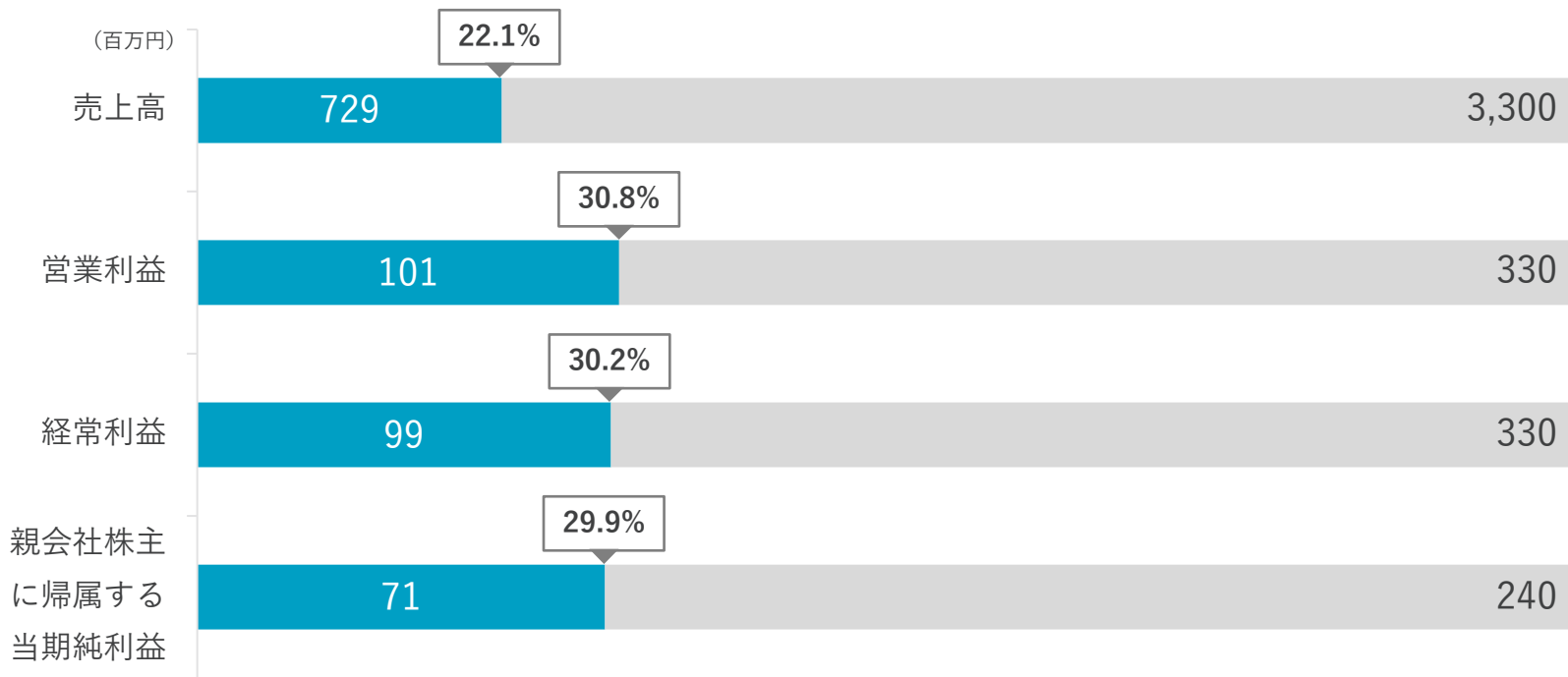
調達した資金を人材採用に活用するケースが多い

<今期の特徴>

- ・ レイターステージの大型調達の減少
- ・ 適切な企業価値のスタートアップは順調に調達

【全社】1Q実績及び業績予想に対する進捗率

売上・段階利益ともに計画を上回り、順調に進捗している状況



売上高：前期4Qの受注高の状況がそのまま反映され、前年同期比2.9%成長

受注高：厳しい事業環境の中、足もとの受注高は前年同期比21.1%成長

決算短信に載る情報

売上高前年同期比：+2.9%
前期4Qの受注実績が影響

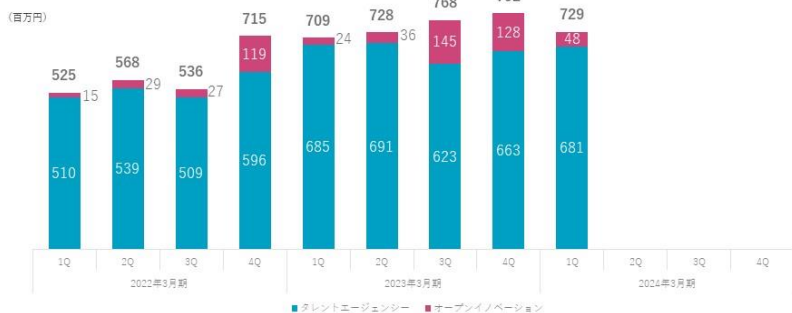
決算短信に載らない情報

受注高前年同期比：**+21.1%**
2Q以降の売上高に影響する

【全社】売上高－四半期推移



厳しい外部環境の中、前年同期比で全社増収を継続



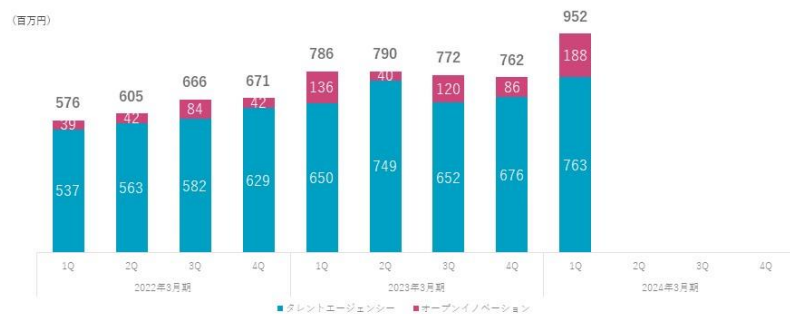
© 2023 for Startups, Inc.

8

【全社】受注高－四半期推移



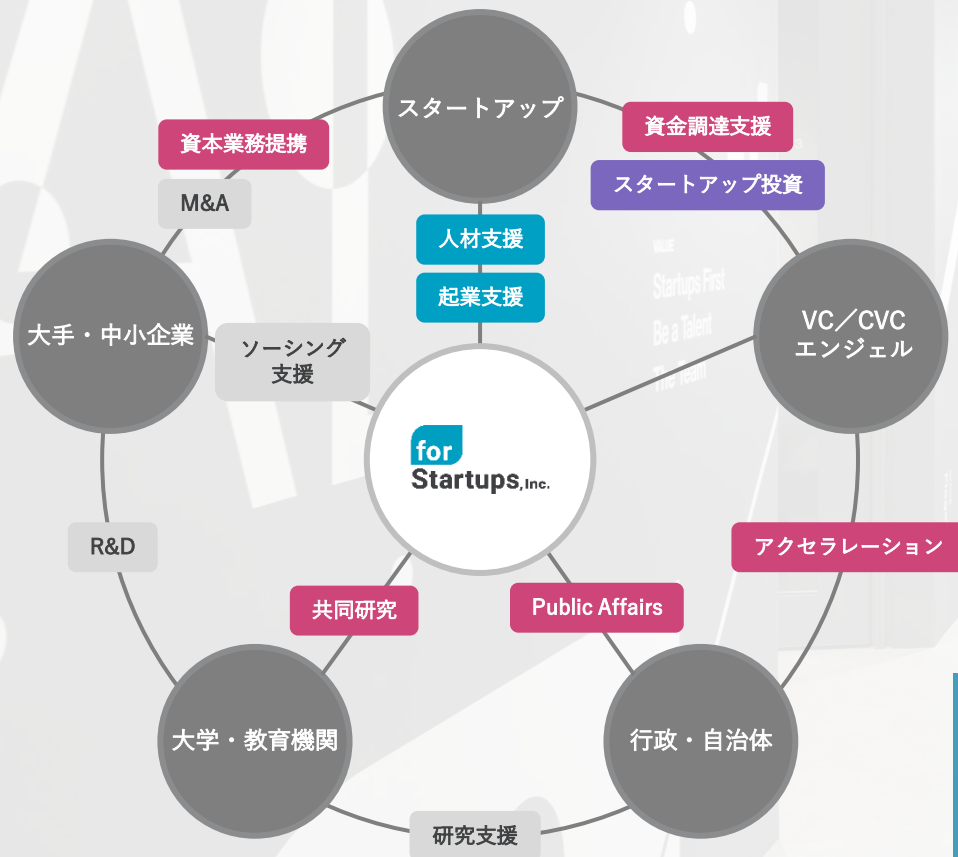
厳しい事業環境ながらも力強い受注実績をあげる
過去最高の四半期受注高952百万円を達成



© 2023 for Startups, Inc.

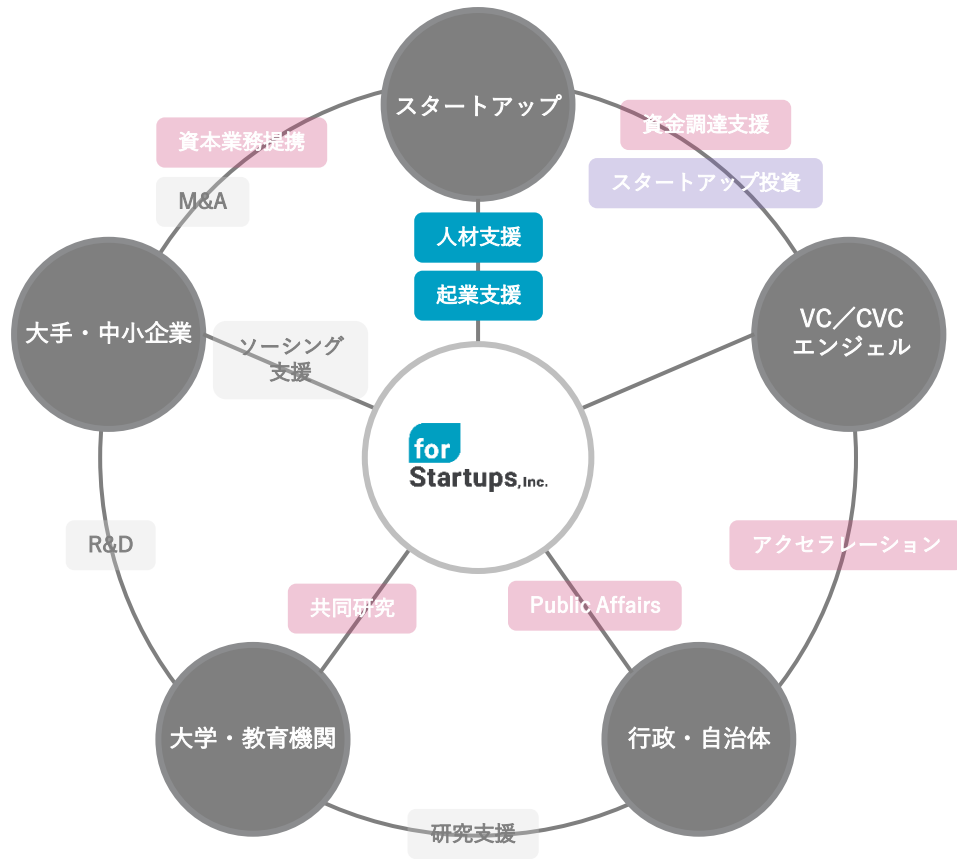
9

Startup Eco System



サービス別の状況

Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

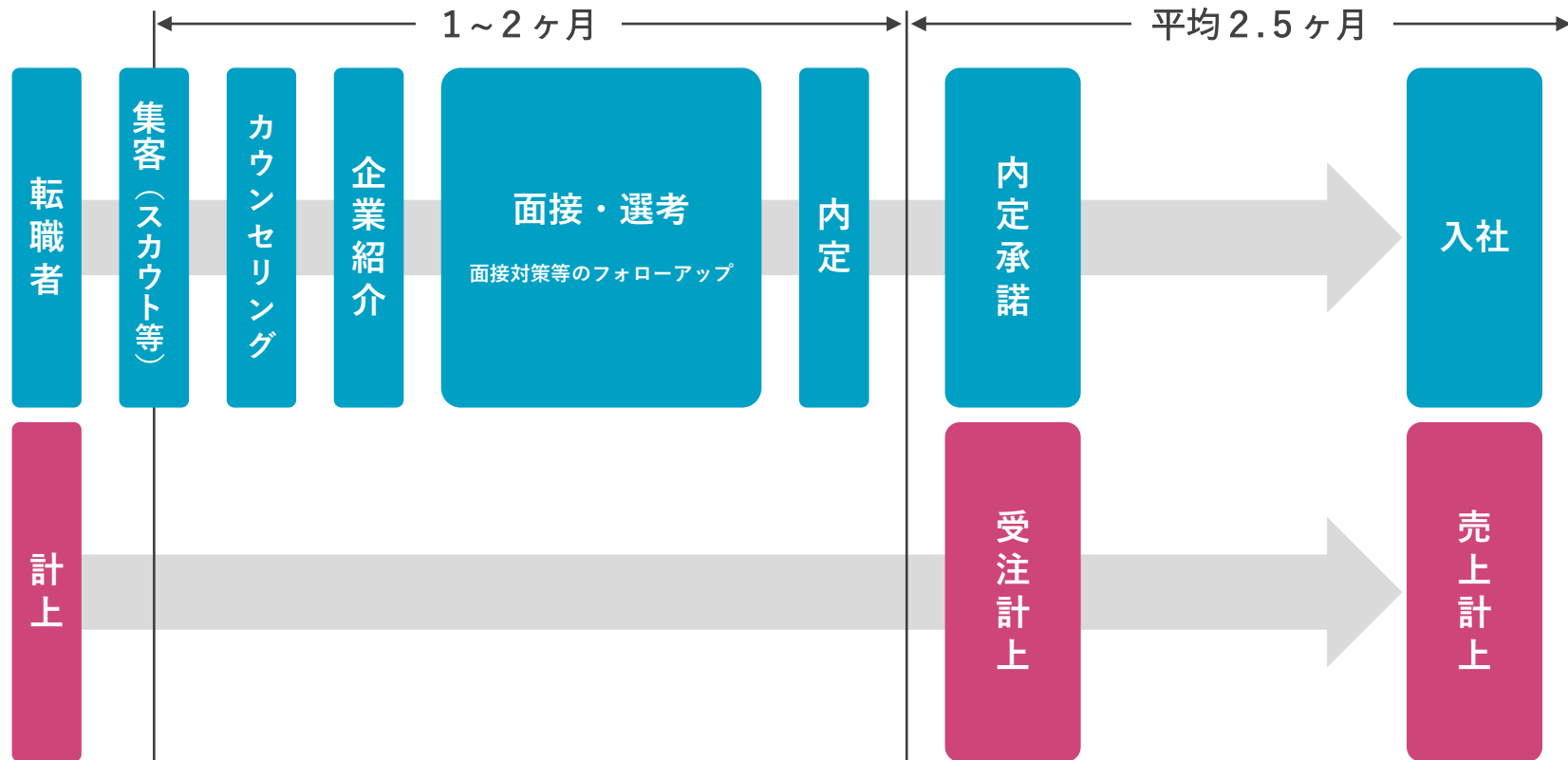
Venture Capital

ベンチャーキャピタル

#投資

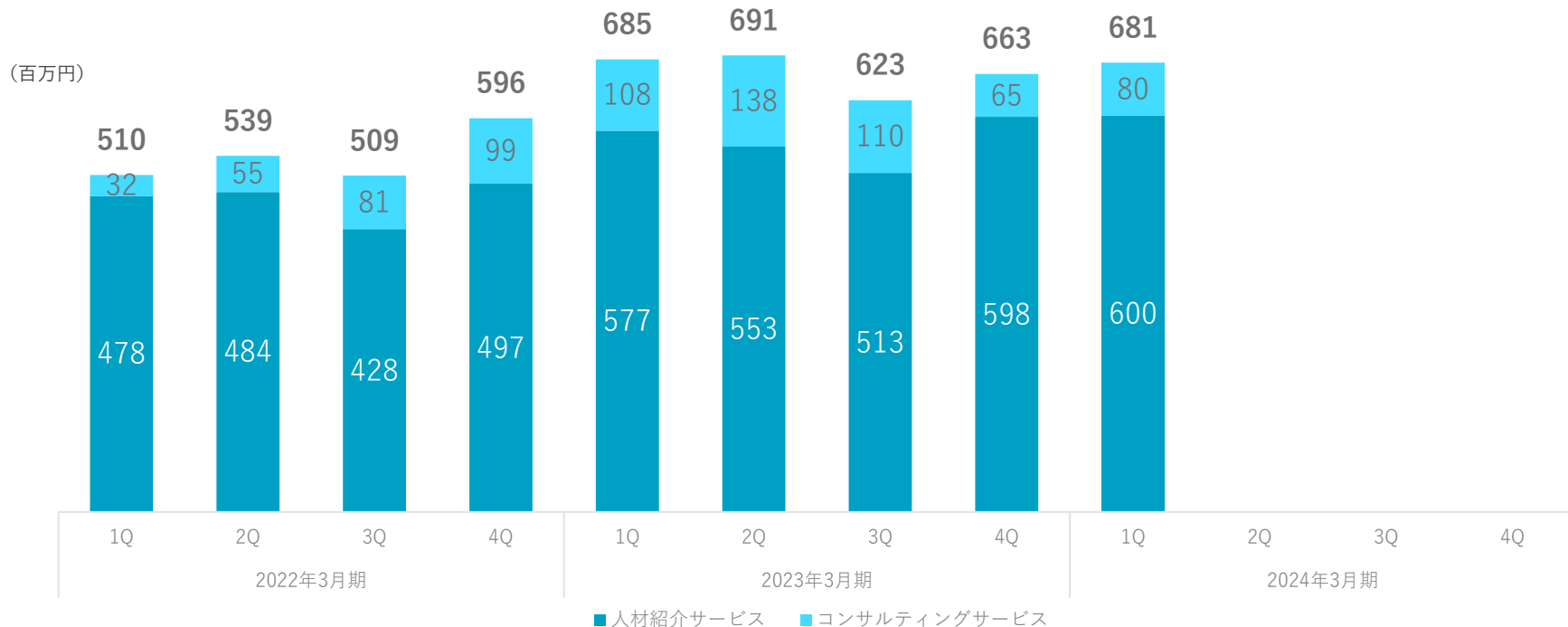
【タレントエージェンシー】人材紹介サービスのビジネスフロー

個人差はあるものの、初回接点から売上計上までは平均3～5ヶ月を要する



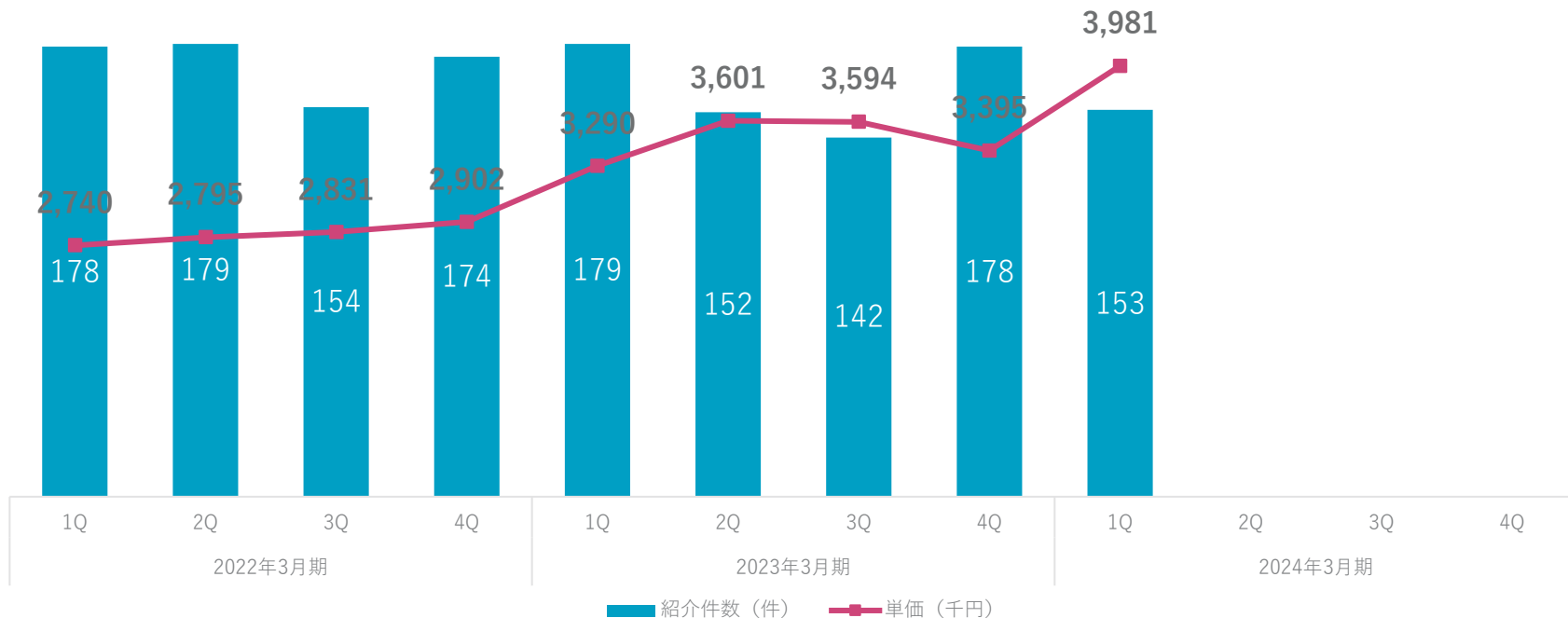
【タレントエージェンシー】売上高の推移

厳しい事業環境を受けながらも、単価の上昇により人材紹介サービスは増収
コンサルティングサービスは減収を見込んでいたが、顧客開拓により前期4Q実績からは持ち直す



【タレントエージェンシー】売上高分解－人材紹介取引数と単価の推移

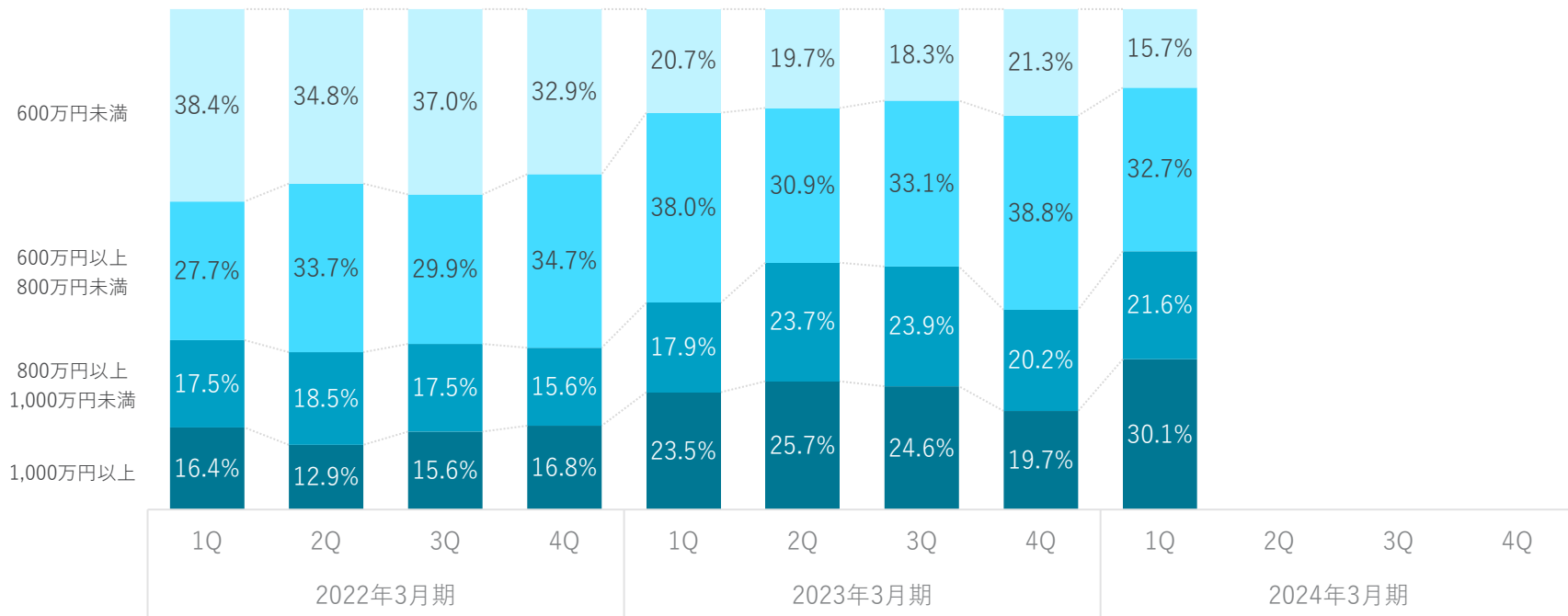
外部環境の影響を最も受けたタイミングとなり紹介件数が減少
数少ないハイレイヤー採用ニーズを支援しきる力強さを発揮し、単価は過去最高値を大きく更新



注) 人材紹介サービス売上の一部（業務委託等）は除く

【タレントエージェンシー】売上高分解－決定年収比率の推移

ハイレイヤー人材の採用ニーズを支援しており、年収構成も高年収帯に集中



1Qの人材紹介売上高は、前期4Qの事業環境や受注高を踏まえると想定どおりの着地
1Qの受注高は、当期戦略の中核であった新規開拓が順調に進捗し、昨年入社者が大きく貢献

売上高

1Q売上高に対するコメント

- ◆ 前期4Q受注高とおりの計上
- ◆ コンサルティングは新規開拓の営業努力の成果として、前期4Qから持ち直す

前期4Q（2023年1-3月）の状況

- ◆ 米国のリセッション懸念等から、スタートアップ各社は採用コストの抑制傾向が強まる
- ◆ 訂正決算・業務フロー再構築等に一定の工数を割いた
- ◆ 希少人材・ハイレイヤーのニーズは強く、当社がそのニーズを支援できたことで、件数が減少・単価は増加

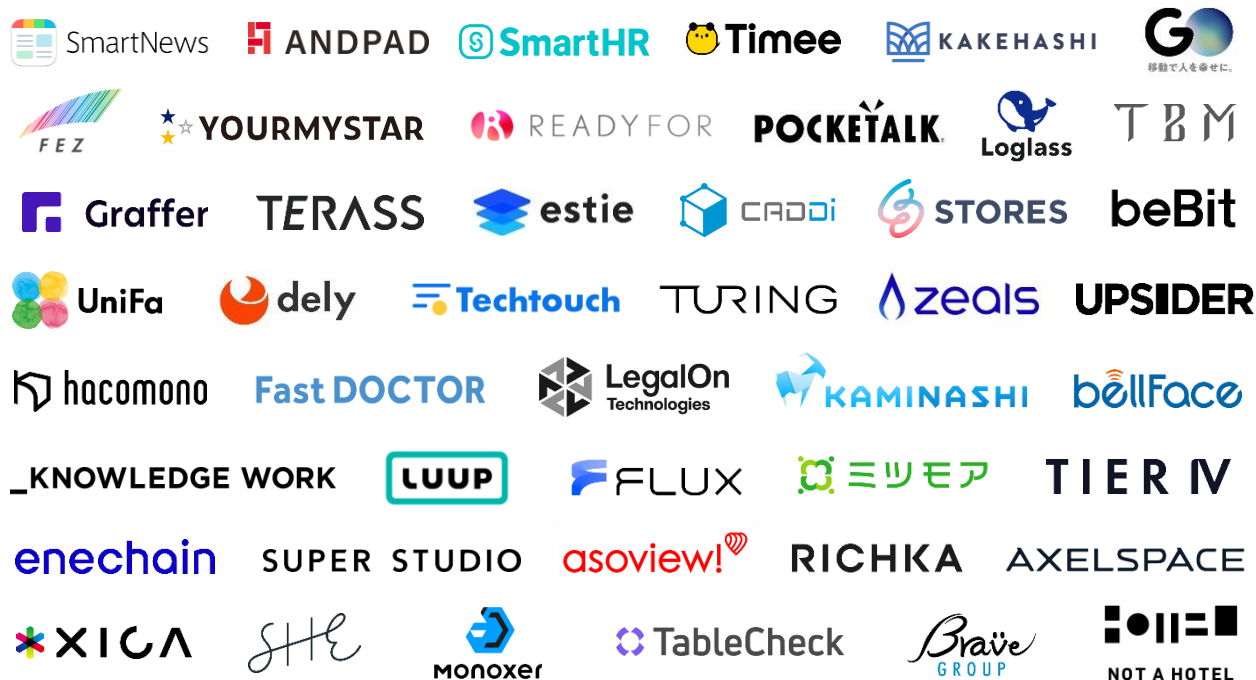
受注高

1Q受注高に対するコメント

- ◆ 人材採用強化を掲げるスタートアップのニーズに対し、ハイレイヤーを中心に支援ができた
- ◆ 在籍1年未満の中途社員を含む複数の社員が、当社が設定する年間売上高ラインに近い数字を単月で計上
前期の採用強化の効果が少しずつ表れ始めた
- ◆ 今期の重点施策であったPre-IPO企業群の新規顧客開拓は順調に進捗。開拓後の人材支援も順調に進捗

【タレントエージェンシー】人材紹介支援実績－新規顧客開拓も進行中

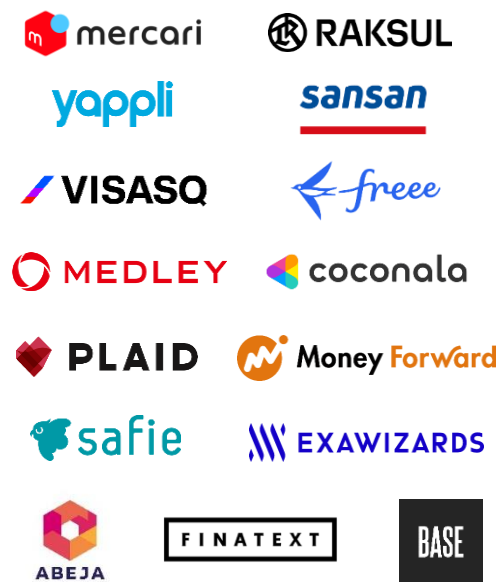
未上場スタートアップ



エコシステムビルダー（VC、イノベーション・キャンパス）



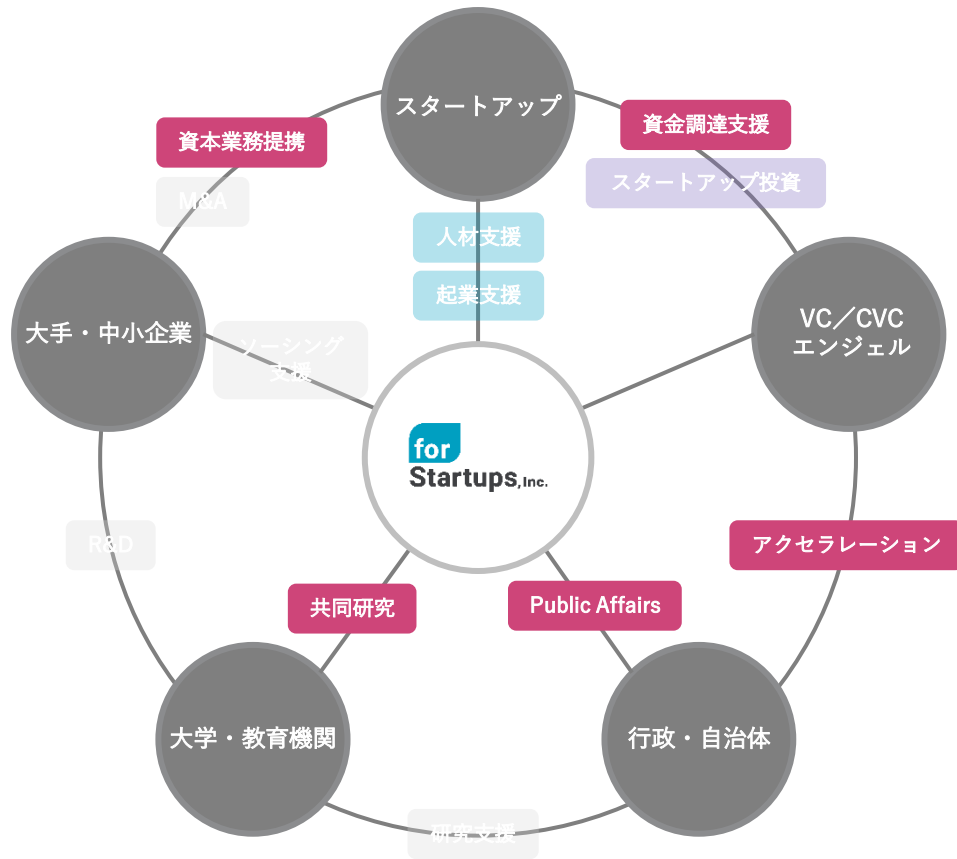
支援中に上場したスタートアップ



既存上場企業



Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

Venture Capital

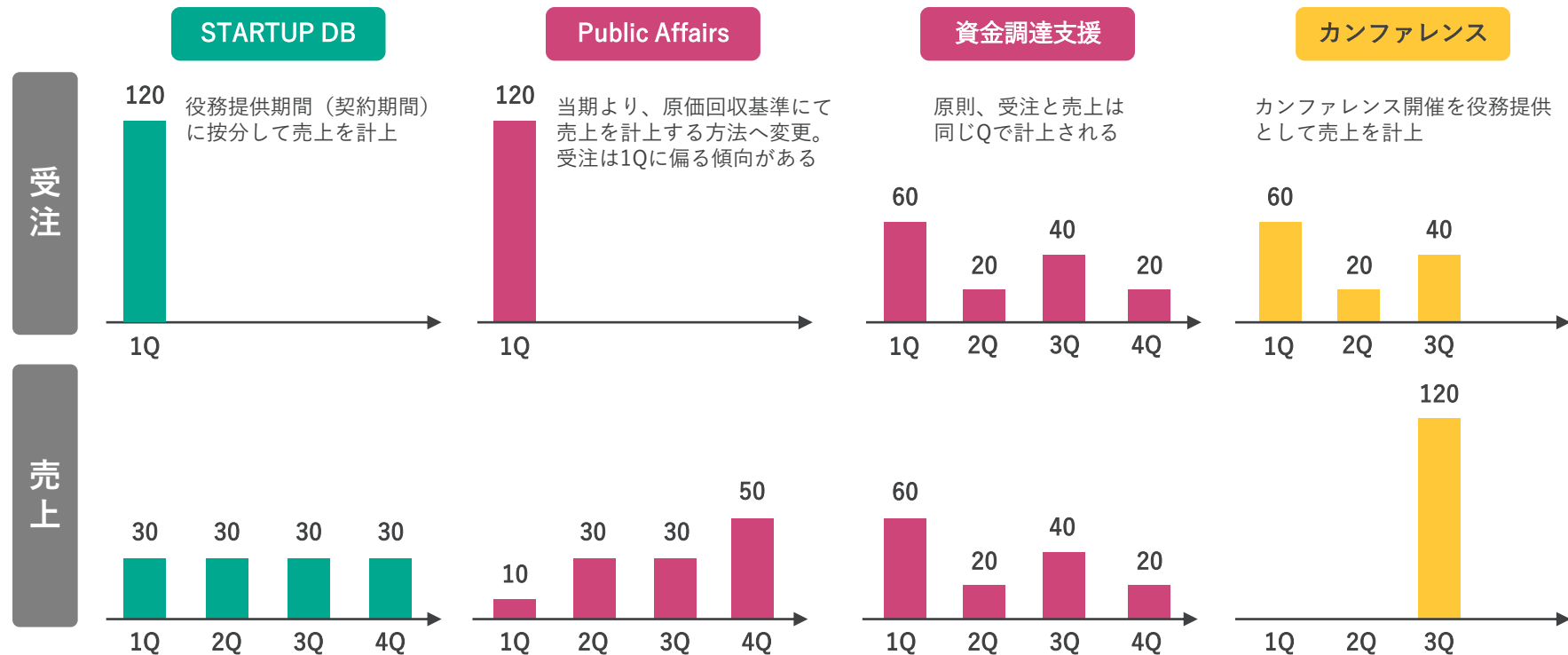
ベンチャーキャピタル

#投資

【オープンイノベーション】各サービスの計上フロー

サービスごとに受注・売上の計上方法・タイミングが異なる

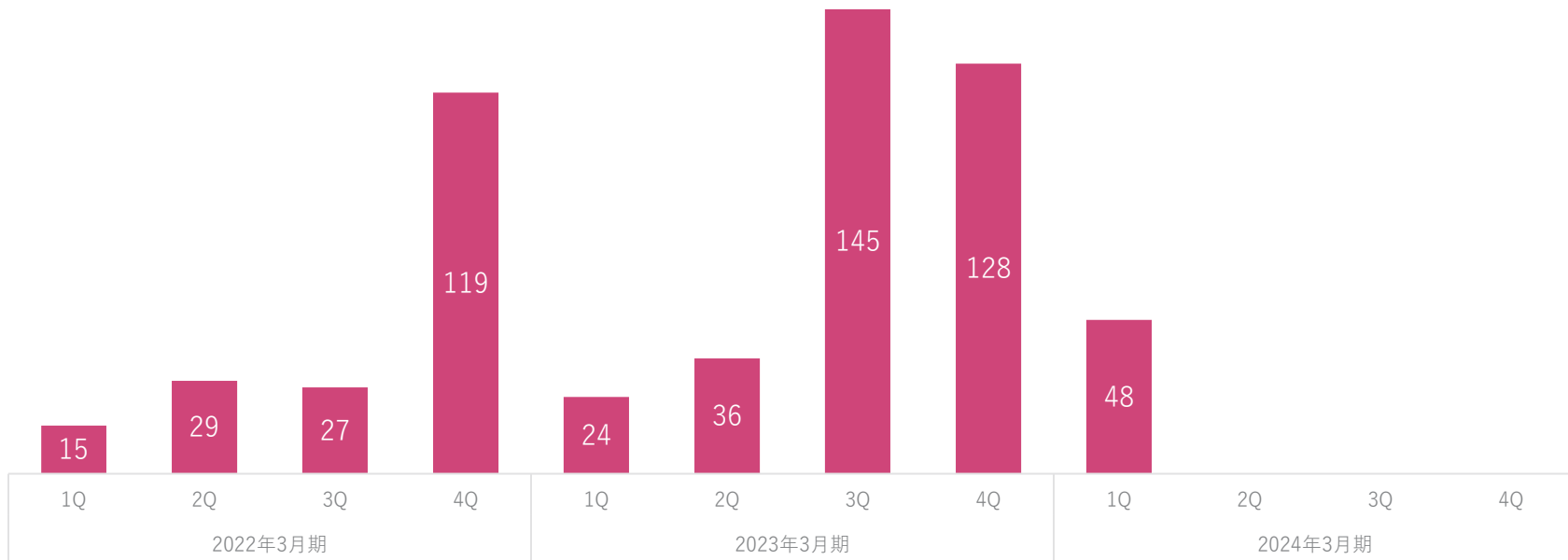
※各数字・計上方法等はわかりやすく簡易的に表現したものです



【オープンイノベーション】売上高の推移

売上計上時期の偏重はあるものの、前年同期比で着実に成長を続ける

(百万円)



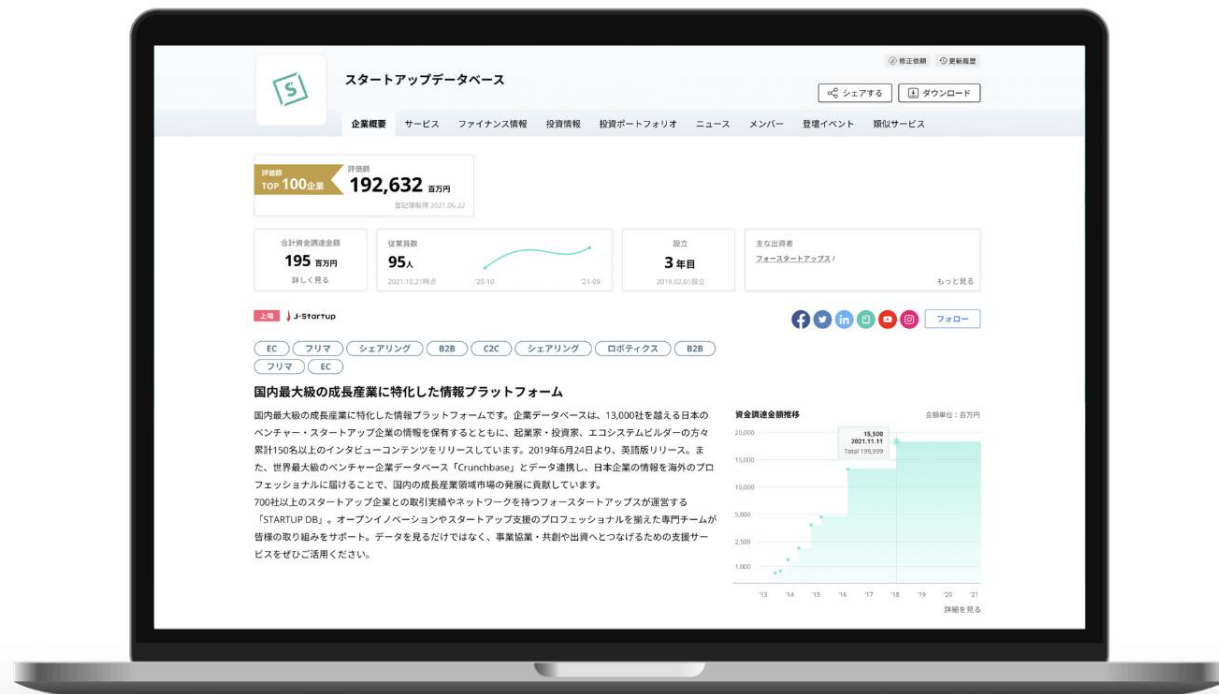


※東京商工リサーチ調べ。有料、無料会員数合計。2023年6月末時点。

20,000社以上の成長企業を集約した

成長産業に特化したプラットフォーム

STARTUP DBは、スタートアップの企業概要、資金調達情報、評価額、特許情報などの情報を集約した国内最大級のプラットフォーム
スタートアップの情報に限らず、投資家や投資企業のポートフォリオや GP / LP の情報も集約



【オープンイノベーション】STARTUP DB 導入企業・提携先

大手の事業会社を中心に、VCや外資系企業も導入
信頼性の高い情報源として、メディアや行政機関への情報提供、各大学との共同研究を実施

ENTERPRISE 導入企業

事業会社を中心に、金融機関、コンサル/調査会社
や外資系企業も利用



導入企業（一部抜粋）

政府公共機関

内閣府や地方自治体
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
科学技術振興機構(JST)との連携

金融機関

SMBCグループとの業務提携を通じた、
スタートアップエコシステム構築への取り組み



海外

世界最大級のスタートアップデータベース
『Crunchbase』と日本初の業務提携



アカデミア

慶應義塾との連携協定を締結
研究技術の社会実装や起業家教育で連携
大学発スタートアップの支援



学術研究

学術論文・調査研究用のデータ提供等による
共同研究

JASVE 一般社団法人日本ベンチャー学会
The Japan Academic Society for Ventures and Entrepreneur



メディア

Forbes Japan

テレビ朝日

日本経済新聞

Bloomberg

週刊東洋経済

DIAMOND SIGNAL

読売新聞

日経ビジネス

日経ヴェリタス

月刊事業構想

日刊工業新聞

CNET Japan

Yahoo! ニュース

【オープンイノベーション】Public Affairs – 23年度の取組み

23年度も地方公共団体を中心としたスタートアップ関連事業を積極的に受託



フォースタートアップス、浜松市の「スタートアップ成長支援事業」を受託。3年連続でスタートアップエコシステムの育成支援を実施



フォースタートアップス、関西広域連合の「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」を3年連続で受託



フォースタートアップス、広島県「令和5年度『ひろしまユニコーン10』プロジェクト環境整備業務」を受託。2年連続で『ひろしまユニコーン10』プロジェクトに従事



フォースタートアップス、愛知県「ディーブテック推進事業」を受託 (CIC Institute、株式会社リバネスと合同)



フォースタートアップス、中国経済産業局「令和5年度中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業（オープンイノベーション・エコシステム構築事業）」を2年連続で受託



フォースタートアップス、愛知県「シンガポール国立大学連携事業」を2年連続で受託



フォースタートアップス、大阪府の「ライフサイエンスアントレプレナーシップ人材育成及び事業化促進事業」に採択



フォースタートアップス、内閣府「令和4年度先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者採択

【オープンイノベーション】Public Affairs－官公庁等との連携

Public Affairsにおいて、政府・官公庁・自治体・大学・経済団体等と連携を実施
今後、更なる連携を深め事業を通じてスタートアップエコシステムの発展に貢献

加盟団体	
日本経済団体連合会（経団連）	会員、スタートアップ委員会企画部会/スタートアップ政策タスクフォース
新経済連盟（新経連）	会員
経済同友会	会員、ラウンドテーブル・クロスリーチ PT副委員長
日本ベンチャーキャピタル協会	会員、ベンチャーエコシステム委員
中央政府事業採択事例	
内閣府	「令和2年度スタートアップ・エコシステム海外発信調査」事業
経済産業省	J-Startup Supporters選定企業、経済産業省令和3年度「SHIFT(x)」事業 総合アドバイザー
NEDO	スタートアップ向け人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業
JETRO	日本におけるスタートアップエコシステムを海外に発信するための調査及び広報活動
大学・高専との連携事例	
みちのくアカデミア発スタートアップ 共創プラットフォーム	東北・新潟の10大学で組成されたプラットフォーム。 東北から国内外の課題解決に資する大学発スタートアップの創出に協力機関として参画
高専インカレワークショップ	S M B C 日興証券主催のイベントで高等専門学校の学生向けの起業マインドアップ講義を実施

【オープンイノベーション】Public Affairs－エコシステム拠点都市との連携

内閣府による「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」にもとづく
スタートアップ・エコシステム拠点都市8拠点のうち5拠点を強化

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西スタートアップ・エコシステム
情報発信事業
(3年連続－2021年度・2022年度・2023年度)



大阪府

ライフサイエンスアントレプレナー
シップ人材育成及び事業化促進事業



大阪府

海外プロモーションモデル事業



京都市
CITY OF KYOTO

「戦略的首都圏企業連携推進業務」
企画・運営業務



京都府産業創造の森

インキュベーションプログラム

広島地域イノベーション戦略推進会議



広島県

『ひろしまユニコーン10』
プロジェクト環境整備業務



経済産業省
中国経済産業局

中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業
(オープンイノベーション・エコシステム構築事業)

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会



みちのくアカデミア発スタートアップ共創
プラットフォームに協力機関として参画

東京コンソーシアム



港区立産業振興センター

スタートアップ事業成長プログラム

Central Japan Startup Ecosystem Consortium



浜松市

スタートアップ成長支援事業
Next Innovator 育成事業



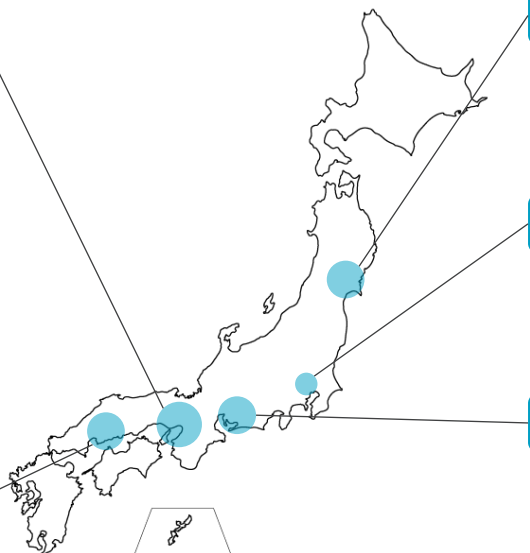
愛知県

シンガポール国立大学連携事業
(2年連続－2022年度・2023年度)



愛知県

ディープテック推進事業
(CIC Institute、株式会社リバネスと合同)



Venture Capital

#投資

【ベンチャーキャピタル】投資先銘柄

投資先はミドル・レイターステージのタレントエージェンシーサービスの人材支援企業
スタートアップ企業に対し、人材と資金の両面で支援（ハイブリッドキャピタル）を実行



for Startups Capital

ベンチャーキャピタル事業



株式会社フェズ

2015年12月設立
リテイルテック事業
(リテイル業界のDXに関する事業)



ユアマイスター株式会社

2016年8月設立
当社の起業支援案件
サービスECプラットフォーム事業



READYFOR株式会社

2014年7月設立
クラウドファンディング事業
寄付・補助金マッチング事業



ポケットーク株式会社

2022年2月設立
翻訳機及び翻訳に関するソフトウ
エアの企画開発、製造、販売等



株式会社カケハシ

2016年3月設立
医療関連サービスの開発・提供

投資先がイグジット（IPO・M&A等による株式売却）した場合に、株式売却額が売上高、株式取得額が売上原価に計上される
当期は前期に引き続き、管理費用のみが発生

【ベンチャーキャピタル】投資事例－株式会社カケハシ

医療の未来をつくる壮大な挑戦を人材×資金のハイブリッドキャピタルとして支援



【人材】

全社員の4分の1、約70人がフォース
タートアップス経由で入社

【資金】

2022年、ベンチャーキャピタル事業に
てファンドから出資

ハイブリッドキャピタル 【人材×資金】

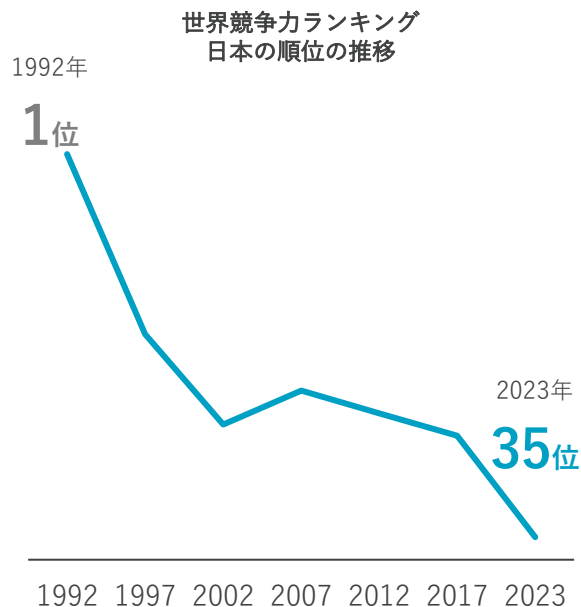
当社の造語で、「ヒト（人材）」と「カネ
（資金）」の支援を同時におこなうことで
企業成長を後押しする状態のこと



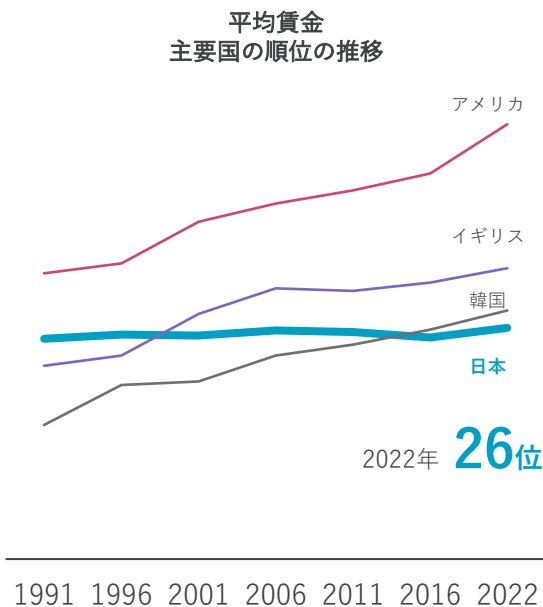
スタートアップ支援の目的

スタートアップ支援の重要性－日本が直面する社会課題

日本は国際競争力が年々低下し35位。平均賃金も停滞を続けOECD加盟国中26位
現在世界3位のGDPが2075年に12位となる予想も発表されており、日本の将来に希望がない状態



IMD世界競争力ランキングより当社作成



OECD (2022), "Average annual wages", OECD Employment and Labour Market Statistics (database)

GDPランキング予想

順位	2000年	2022年	2050年	2075年
1	アメリカ	アメリカ	中国	中国
2	日本	中国	アメリカ	インド
3	ドイツ	日本	インド	アメリカ
4	イギリス	ドイツ	インドネシア	インドネシア
5	フランス	インド	ドイツ	ナイジェリア
6	中国	イギリス	日本	パキスタン
～	～	～	～	～
12	韓国	韓国	エジプト	日本

出所：ゴールドマン・サックス
「2075年への道 世界の成長鈍化も収れんは続く」 (The Path to 2075 — Slower Global Growth, But Convergence Remains Intact)

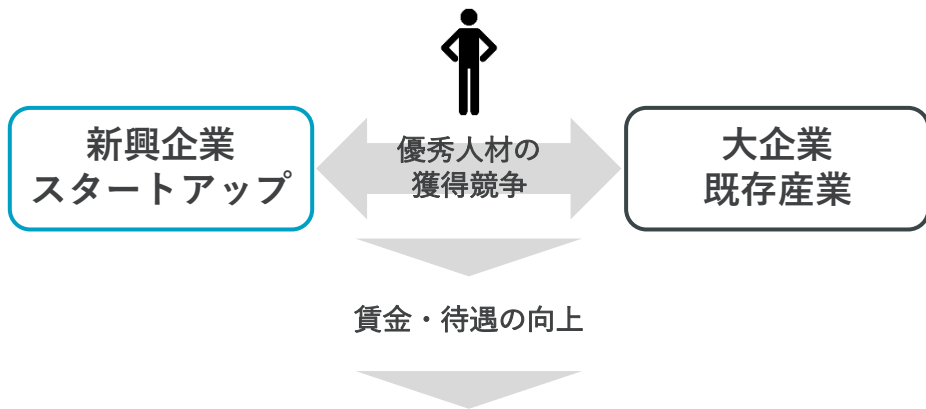
スタートアップ支援の重要性ー構造的賃上げにつながる

アメリカでは、雇用の半数を新興企業（スタートアップ）が創出しており、新興企業と大企業が優秀な人材を取り合う競争が起きることで、賃金の上昇に寄与している

アメリカの状況

1980年から2010年の平均で、スタートアップが年290万人の雇用を創出
これは国全体の新規雇用の50%にあたる水準

出典「National Venture Capital Association "Yearbook 2021"」



日本でも同じ構造づくりが必要

【アメリカのスタートアップが大企業と勝負できる理由】

- ・ 起業家が多い。成功した起業家が次世代起業家へ投資を行う
- ・ 未上場企業への資金流入量が大い
- ・ 上記2点を踏まえた、巨大なスタートアップ・エコシステムが存在

スタートアップ資金調達額 (2022年)

約 26兆円

約 1兆円

米国

日本

ユニコーン企業数 (2023年7月時点)

656社

7社

米国

日本

出所) 米国: CB Insights 2022 State of Venture Report
日本: STARTUP DB 為替は2022年12月末日現在の値

出所) 米国: CB Insights The Complete List Of Unicorn Companies (As of July 2023)
*ユニコーン企業: 評価額10億ドル以上の企業

スタートアップ支援の重要性ースタートアップ支援が国策に

スタートアップは、雇用創出・所得拡大・国の財政を支える成長ドライバーになりうる
2年連続で『骨太の方針』に組み込まれ、経済産業省を中心にスタートアップの重要性を発信

▼スタートアップ支援が国策となった現在までの歩み

2021.10	自由民主党総合政策集2021 J-ファイルにて「スタートアップの創出」が組み込まれる
2022.01	岸田首相年頭記者会見にて「スタートアップ創出元年」を宣言
2022.02	岸田首相がCIC Tokyo を訪問 (当社代表取締役社長 志水 雄一郎と挨拶)
2022.03	経団連が「スタートアップ躍進ビジョン」を公表
2022.06	経済財政運営と改革の基本方針 2022 (骨太の方針) にて、スタートアップへの投資が明記される
2022.11	2022年度補正予算でスタートアップ支援に1兆円「スタートアップ育成5カ年計画」を公表
2023.06	経済財政運営と改革の基本方針 2023 (骨太の方針) にて、スタートアップの推進が明記される

▼経済産業省を中心に、スタートアップ創出の重要性について積極的な情報発信がされるように

01 なぜスタートアップなのか

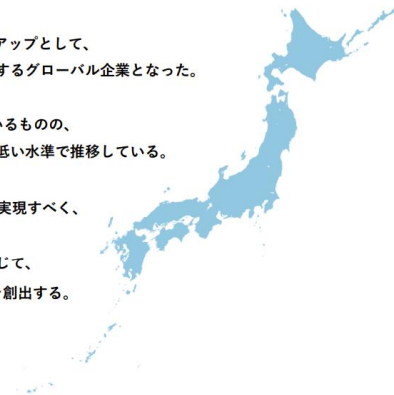


スタートアップこそ、課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである。

我が国を代表する電機メーカーや自動車メーカーも、戦後直後に、20代、30代の若者が創業したスタートアップとして、その歴史をスタートさせ、その後、日本経済をけん引するグローバル企業となった。

しかし、2023年現在、多様な挑戦者は生まれてきているものの、開業率やユニコーン企業数は、米国や欧州に比べ、低い水準で推移している。

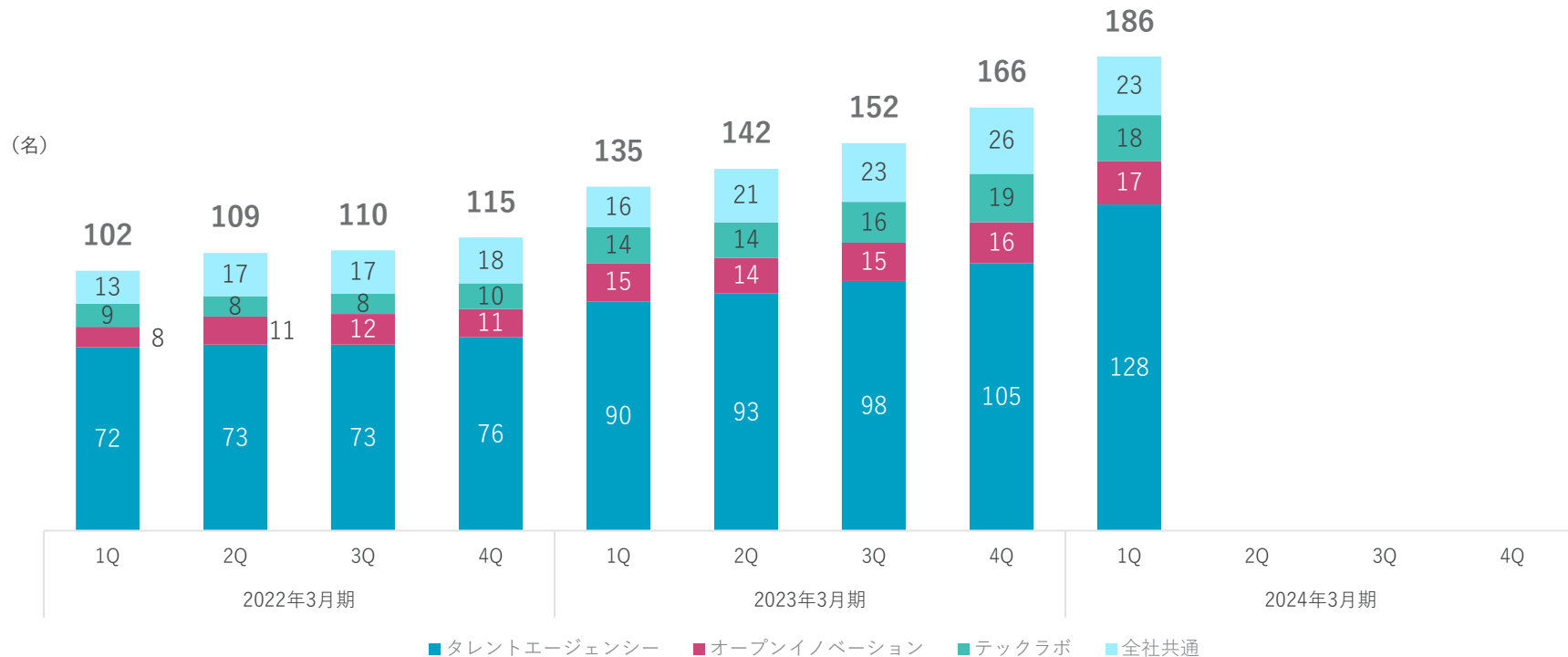
そこで、戦後の創業期に次ぐ、**第二の創業ブーム**を実現すべく、スタートアップの起業や規模拡大・成長の加速、既存大企業によるオープンイノベーションの推進を通じて、日本に**スタートアップを生み育むエコシステム**を創出する。



出所：経済産業省
『スタートアップ育成に向けた政府の取り組みースタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する』

【全社】 人員数推移

成長ドライバーは社員数。180名超の規模に拡大したが、今後も採用活動を強化

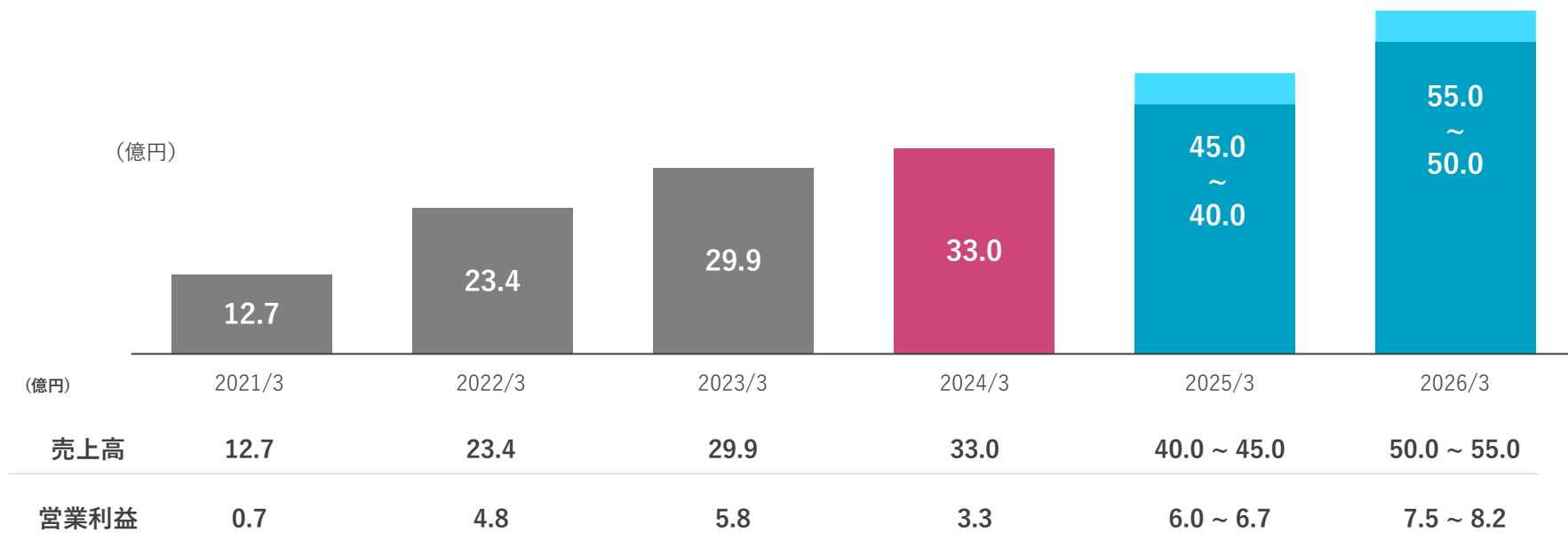


注)産休・育休等の休職中の社員を含んでおります。

2026年3月期に連結売上高50億円超を目指す

25年3月期以降は営業利益率は15%程度を原則とし、全社CAGRの向上を見据えた再投資を行う

連結売上高計画



質疑応答

IRメール会員募集中

当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を配信しております。
登録は以下URLまたは二次元バーコードからご登録いただけます。

<https://www.magicalir.net/7089/irmail/index.php>



▼以下のようなメールがタイムリーに届きます

【フォーススタートアップス株式会社】適時開示情報のお知らせ

受信トレイ ✕

フォーススタートアップス株式会社

6月30日(金)

フォーススタートアップス株式会社からIR情報のお知らせです。

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：支配株主等に関する事項について

ファイル：<https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510582.pdf>

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：事業計画及び成長可能性に関する事項

ファイル：<https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510584.pdf>

このメールは当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を自動で配信する仕組みとなっております。



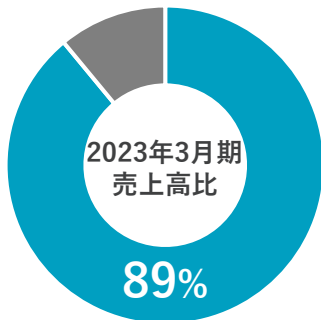
Appendix

人材支援を中心に、スタートアップ企業を強力にサポート

人材

タレントエージェンシー

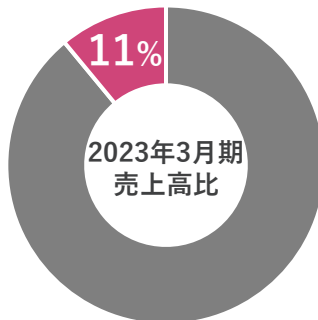
- ・ 起業支援サービス
- ・ 人材紹介サービス



機会

オープンイノベーション

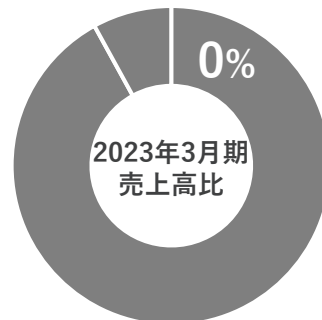
- ・ STARTUP DB
- ・ Public Affairs
- ・ 資金調達支援



資金

ベンチャーキャピタル

- ・ スタートアップ投資



成長企業に資本を集中させ、持続的成長のためのエコシステムを形成

シリコンバレーのエコシステム要素を参考に、成長産業支援事業を推進

米国シリコンバレーのテックエコシステム6つの要素

Human Capital
人的資本

Strong Corporate Environment
強い企業環境

Strong University System
強力な大学システム

Financial Capital
金融資本

Adequate Infrastructure
充実したスタートアップ支援体制

Culture Conducive to Innovation
イノベーションを促進する文化

当社の成長産業支援事業における注力領域

人材

タレントエージェンシー

産官学連携・エコシステム

オープンイノベーション

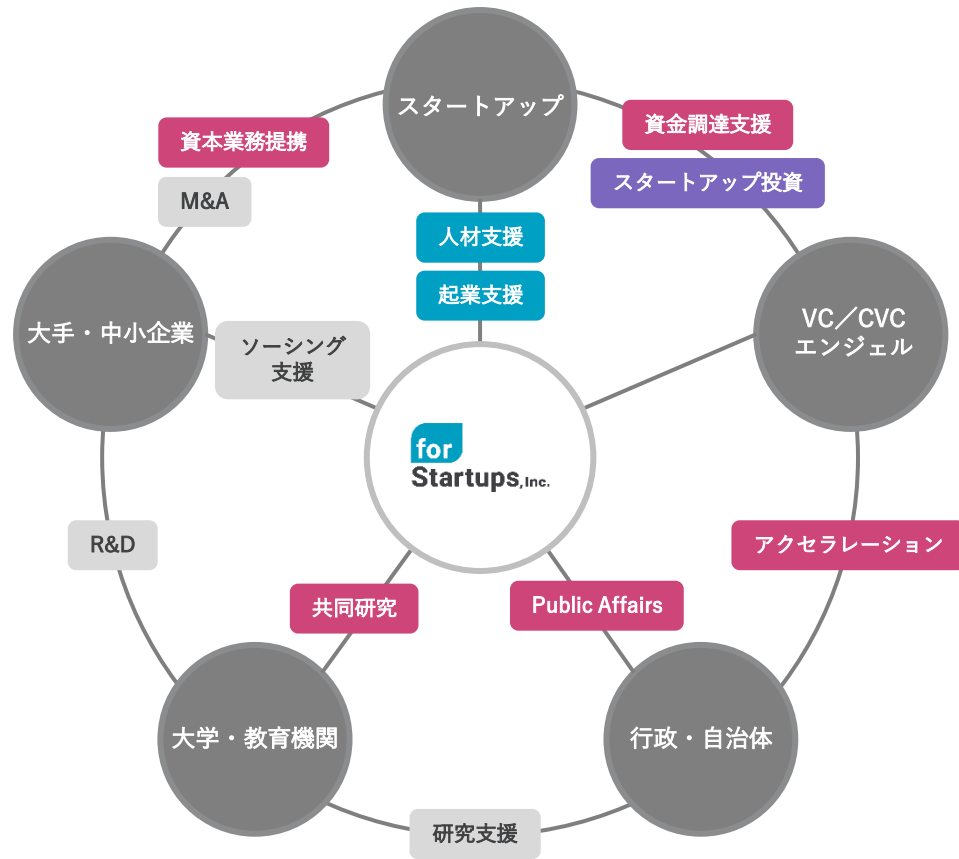
資金

ベンチャーキャピタル

*出所) "Stars Aligning: How Southern California Could Be the Next Great Tech Ecosystem MARCH 20, 2018" <https://www.bcg.com/publications/2018/stars-aligning-southern-california-next-great-tech-ecosystem>

JETRO調査レポート「南カリフォルニアのスタートアップ・エコシステム（ロサンゼルス（シリコンビーチ）、サンディエゴ、アーバイン）（2020年4月）」 <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/02/03dcf4dbb17e3f7c.html>

Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

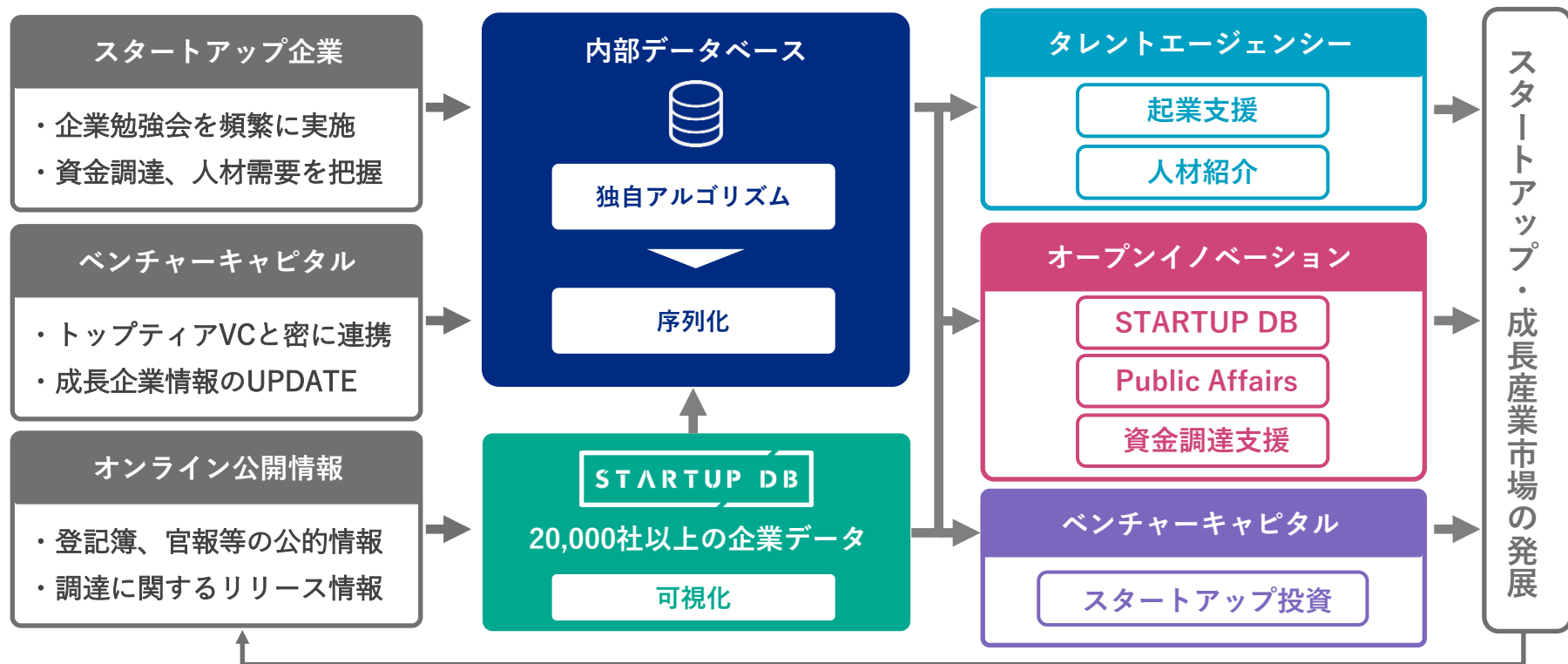
Venture Capital

ベンチャーキャピタル

#投資

【全社】 未公開情報を可視化しシナジーを創出するビジネスモデル

さまざまな情報を集約し、成長産業支援の各ビジネスへ展開



市場の正しい把握に必要な多種多様な情報

成長産業支援事業におけるタレントエージェンシーの位置づけ

起業家を生み出すこと・スタートアップ人材支援の2点を中核としている
キャッシュ・フローを生み出す力が最も強い「ヒト」がスタートアップの成長には不可欠である

ミッション・ビジョンに
もとづく将来像
“成長産業支援”

成長産業支援事業

大企業・スタートアップ問わず、イノベーションを推進するチームを支援する

当面のフォーカス
“スタートアップ支援”

起業

スタートアップ

大企業
(新規事業部門)

支援領域

ヒト

モノ

カネ

- 経営資源のうち「ヒト」が最もキャッシュ・フローを生み出す力を有している
→人材支援はスタートアップの成長に最も貢献する
- 米国と比較すると規模は小さいものの、VC・CVCに加え、デット調達の支援が進み、「カネ」の支援を行うプレイヤーは増加

【タレントエージェンシー】起業支援

人材紹介を営むチームとしては異例の「起業」をプロデュースできることが私たちの強み
起業に資する人材とVC・大学をマッチングさせることで、これまでに7社の起業を支援

VC連携



ユアマイスター株式会社（2016年8月設立）
代表取締役社長 星野 貴之
日本最大級のサービスECプラットフォーム運営



株式会社グラファー（2017年7月設立）
代表取締役/創業者 石井 大地
行政サービスのデジタル改革推進



株式会社TERASS（2019年4月設立）
代表取締役CEO 江口 亮介
不動産ITサービス運営



株式会社NABLA Mobility（2021年4月設立）
代表取締役兼CEO 田中 辰治
航空機業界の効率改善、地球全体の脱炭素に貢献する
ソリューションを、AIやデータを活用して提供



株式会社Yuimedi（2020年11月設立）
代表取締役 グライムス 英美里
ノーコードの医療データ特化型クレンジング・分析
ツールの開発・提供



株式会社フェイガー

株式会社フェイガー（2022年7月設立）
代表取締役 石崎 貴紘
農業由来カーボンクレジットの生成、農家の脱炭素の
取り組みの支援及びクレジット化

大学連携



Blue Practice株式会社（2019年2月設立）
代表取締役社長兼CEO 鈴木 宏治
医療シミュレータの開発・製造・販売

当社初の産学連携型起業支援であり、東北大学との連携した実績
一般企業と同様に大学研究機関においても、研究技術を事業化させる経営人材が重要である

【タレントエージェンシー】スタートアップ人材紹介における参入障壁

スタートアップ関連の情報が入る仕組みを構築し、参入障壁かつ強みにしている

大手人材紹介会社にとって
難易度が高く非効率



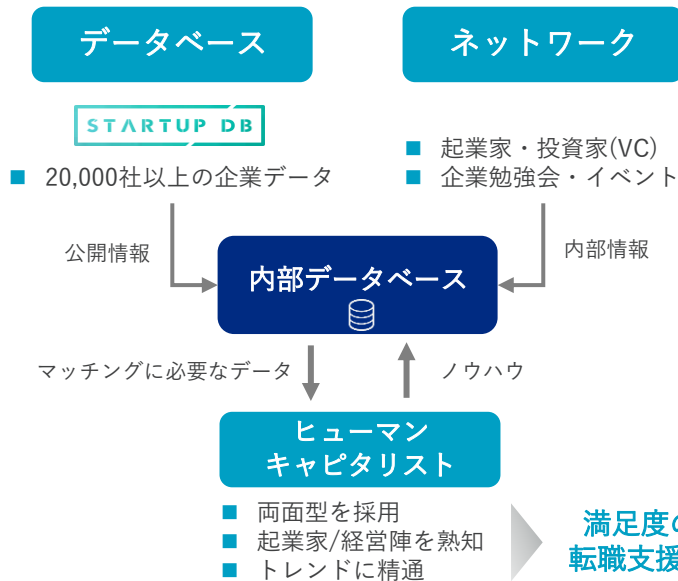
スタートアップ関連情報の
収集の仕組みを構築

強み

スタートアップ業界を取り巻く環境

業界特徴	動きが速く、キャッチアップコストが 高い
企業	小規模かつトレンドが変動するため需要が 不安定
求職者	経済合理性が相対的に低く優秀人材が 集まりにくい

大企業向け紹介の方が合理的



【タレントエージェンシー】強みー日本を代表するプレイヤーとのネットワーク

企業勉強会（年間150回以上）や自社イベントの開催を通じ、深い業界理解と企業理解を有する

*ご来社された起業家・投資家の皆様（抜粋）



勉強会：起業家や投資家との勉強会を高頻度で開催。最新の情報共有と相互のディスカッションを通じて、一次情報にもとづく深い理解をもとに支援を推進。



感謝祭：日本を代表する起業家・投資家・行政・メディアを当社グループオフィスに年間数回ご招待。情報交換を通じて成長産業コミュニティを強化。



交流会：世界最大級のスタートアップカンファレンスの投資家向け交流会や大企業のオープンイノベーションイベントを当社グループオフィスにて開催。

【タレントエージェンシー】スタートアップの成長戦略に合う人材支援

スタートアップ各社の戦略や文化を理解し、成長に必要な人材を支援できることが当社の強み

EVANGE (エヴァンジェ)

<https://evange.jp/>

当社がご支援した**CXO・経営幹部層**の
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



*ココナラ社の鈴木 歩氏は、COOとして支援後、2020年9月にCEOに就任

*ヤプリ社の山本 崇博氏は、CMOとして支援後、2023年1月に取締役執行役員COOに就任

Challengers (チャレンジャーズ)

当社がご支援している**スタートアップ**の
代表的な支援事例をコーポレートサイトにてご紹介



株式会社ヤプリ



セーフィー株式会社



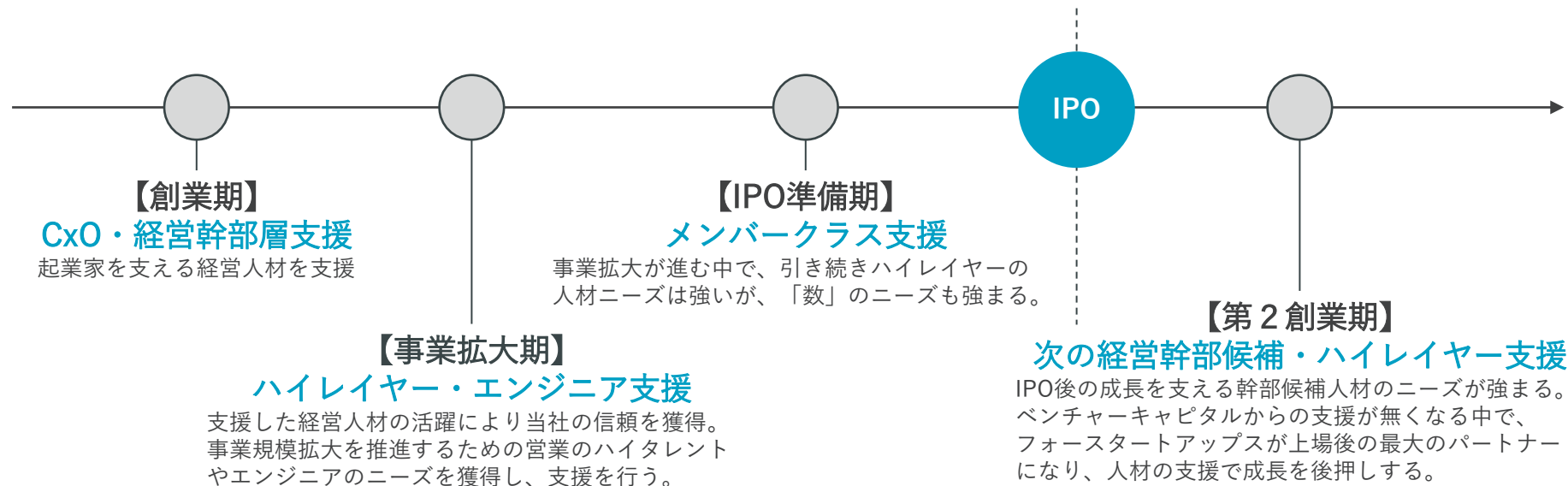
株式会社タイミー



株式会社ココナラ

【タレントエージェンシー】競争優位性

経営幹部層の支援からスタートし、成長をサポート。成長後はさらなる採用のニーズが生まれ、当社が人材支援してさらに成長。結果的に、当社自身が企業の採用ニーズを生む好循環を創出



上場企業も含めた日本の『成長企業』の最大のパートナーへ

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



すべては、スタートアップスのために。